

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任				
数学	数学C	2	3年次・数学C 選択者	加藤 経行 ・ 奥田 章二				
使用教科書	数研出版 「高等学校 数学C」		使用副教材	数研出版 チャート式基礎からの数学C 数研出版 4プロセス数学C 完成ノート				
科目の目標			道徳教育のねらい					
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。			数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることで、また、生徒が事象を数理的に考察し、道筋を立てて考え、表現をする能力を高めることで、道徳的判断力を養う。					
学習活動内容		育てたい6つの力 (資質・能力)						
		1 主体的学習力	2 基礎力	3 思考・分析力	4 発信・表現力	5 自他認知・協働力	6 計画実行力	
1	数学 C 1章	平面上のベクトル	◎	◎	○	○	○	○
2	数学 C 2章	空間のベクトル	◎	◎	○	○	○	○
3	数学 C 3章	複素数平面	◎	◎	○	○	○	○
4	数学 C 4章	式と曲線	◎	◎	○	○	○	○
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16	グループワーク				◎	◎	◎	
17	課題提出		◎	○	○			◎
18	考査および単元テスト			◎	◎	◎		
評価の観点	関心・意欲・態度		数学的な見方や考え方		数学的な技能		知識・理解	
	数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。		思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。		事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。		原理・原則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。	
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。							
		授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	その他の資料	
	関心・意欲・態度	◎	◎			○	◎	
	数学的な見方や考え方	○		◎	◎		◎	
	数学的な技能	○		◎	◎		◎	
知識・理解	◎	○	◎	◎	○	◎		

数学研究B授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4 (8)	第1章 平面上のベクトル (18)	・ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。			
	5 (9)					第1節 ベクトルとその演算 (9)
	6 (12)	第2章 空間のベクトル (12)	・ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	第2節 ベクトルと平面図形 (7) 【演習・単元テスト】(2)		
	7 (10)			第2章 空間におけるベクトル(10) 【演習・単元テスト】(2)		
	8 (7)	第3章 複素数平面 (17)	・複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	第1章 複素数平面(15) 【演習・単元テスト】(2)		
	9 (10)			第4章 式と曲線 (20)		第1節 2次曲線(12)
10 (10)			第2節 媒介変数表示と極座標(6) 【演習・単元テスト】(2)			
11 (8)		・3年間および、3年次前期の学習内容を基に、入試に向けて演習を行い、大学入学共通テストに対応できる力を養う。	演習 (8)			
12 (8)			演習 (8)			
後 期				0		